湯の川温泉を拠点にすると こんなに便利で、こんなに楽しい！

便利な市電1日乗車券をご利用ください。

温泉で癒され、歴史や豊かな自然にふれる湯の川温泉エリアを始め、観光スポットが点在する函館駅前・元町エリア、繁華街として多くの人々が行き交う五稜郭・本町エリアなど、函館の街は楽しみどころが満載。湯の川温泉から各エリアへと、のんびり、ぶらりと、さまざまな函館の魅力にふれてみてはいかが。

湯の川温泉エリア

湯の川温泉電停 ▶ 徒歩0分 ▶ 足湯 ▶ 徒歩7分 ▶ 湯倉神社 ▶ 徒歩15分 ▶ 熱帯植物園

五稜郭・本町エリア

湯の川温泉電停 ▶ 市電14分 ▶ 五稜郭公園前 ▶ 徒歩10分 ▶ 五稜郭タワー ▶ 徒歩1分 ▶ 五稜郭公園 ▶ 箱館奉行所

函館駅前エリア

湯の川温泉電停 ▶ 市電30分 ▶ 函館駅前電停 ▶ 徒歩2分 ▶ 函館朝市

元町・西部エリア

湯の川温泉電停 ▶ 市電35分 ▶ 十字街電停 ▶ 徒歩5分 ▶ 金森ベイエリア ▶ 徒歩15分 ▶ 元町教会群 ▶ 徒歩5分 ▶ 函館山ロープウェイ

湯の川温泉の歴史

北海道の三大温泉郷のひとつに数えられ、癒しのひとときを求めて国内外から多くの人々が訪れてくる湯の川温泉。その発祥は江戸時代の1653（承応2）年に遡ります。この年、松前藩主九代・高広（幼名千勝丸）が難病にかかり、病は日に日に悪化を辿ります。ある夜、母の清涼院は「松前城の東にある温泉に行けば、どんな病も治る」という夢を見ました、そして、その温泉に千勝丸を湯治させると、病は間もなく全快したそうです。藩はお礼として薬師堂を再建し、金の薬師如来像と、鰐口を奉納したのが湯の川温泉の発祥と言われ、現在の湯倉神社の創建とされています。湯の川の語源は、アイヌ語の「ユ（湯）＋ベツ（川）」から、というのが定説になっています。広く知られるようになったのは、明治中期になってから。それ以前の温泉は湯量が少なく、温度も低かったのですが、100度以上毎分140リットルの温泉を掘り当て、1886（明治19）年に湯治場を開業から入浴客が増えていきました。それに伴い、飲食店・宿・商店などが立ち並び、今日の温泉街の基礎が出来上がりました。

ゆのっ子 ちかつまる（千勝丸）

幼いころに湯の川温泉で湯治したという松前藩主・高広（幼名・千勝丸）がモデル。もちろん、趣味は入浴。明るく、人なつっこいのが長所ではありますが、ちょっとお人好しなところがたまにきず。好きな食べ物はマグロとイカの塩辛であり、好きな飲み物は、風呂上がりに良く合うコーヒー牛乳とカツゲンです。函館 湯の川温泉の魅力を広くPRしています。

函館湯の川温泉 体験型アクティビティ

ゆのぶら

CHECK!! Yunobura!

函館湯の川温泉の各旅館ホテルが中心となり開催する様々な体験プログラムやグルメコンテンツ、アクティビティをスマートフォンやタブレットで簡単に予約することができる「ゆのぶら」がオープン!

函館湯の川温泉旅館協同組合

〒042-0932
北海道函館市湯川町2丁目7番6号
TEL.0138-57-8988
公式ホームページ
https://hakodate-yunokawa.jp

函館湯の川温泉の情報はコチラから！

2024年9月発行

なまらあずましい。湯の川温泉

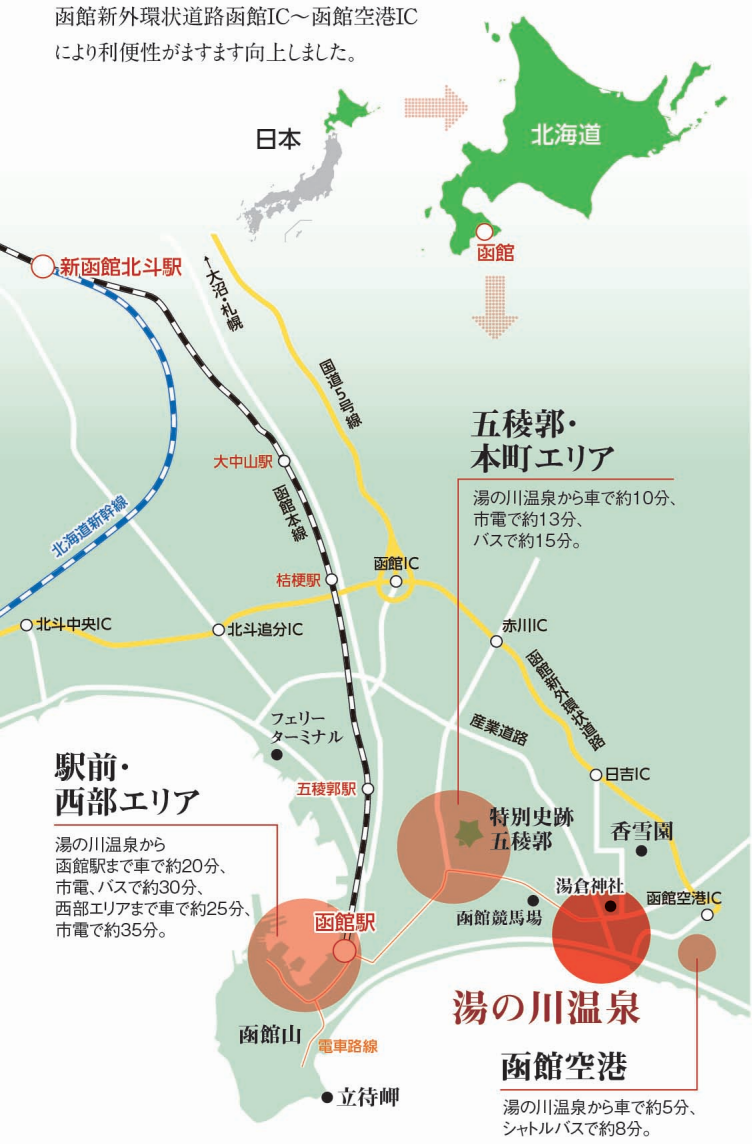
【なまらあずましい】とてもいごこちがいい

函館 湯の川温泉 旅館協同組合

函館空港から車で5分！ 日本一、空港に近い温泉街です！

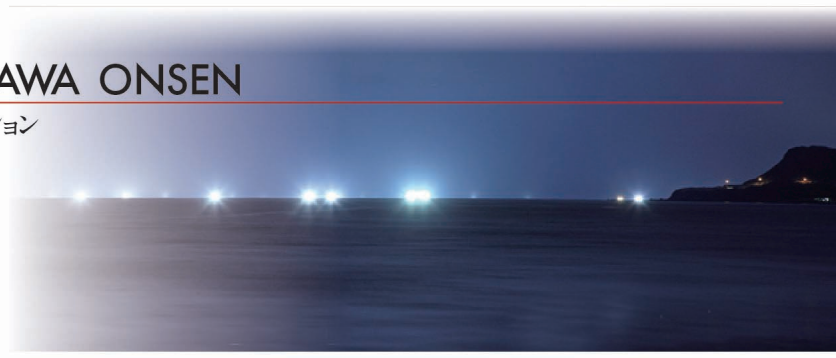
詳しいアクセスはこちら！

函館市内の東側に位置する湯の川温泉は、空の玄関口である函館空港からほど近い場所にあります。函館の繁華街である五稜郭・本町エリアへは電車やバスなどの交通機関が充実しており、津軽海峡沿いの国道を走れば、陸の玄関口である函館駅や観光スポットが点在する西部エリアへのアクセスもスムーズです。さらに、2021（令和3）年3月に開通した函館新外環状道路函館IC～函館空港ICにより利便性がますます向上しました。



HOKKAIDO HAKODATE YUNOKAWA ONSEN

北海道「函館」湯の川温泉 旅館/ホテルインフォメーション



日帰り入浴ができる施設 ※日帰り入浴料金には消費税、入湯税が含まれております。
※宿泊料金には消費税が含まれておりますが、入湯税は含まれておりません。

1 ホテル雨宮館

TEL.0138-59-1515
【お一人様】1泊軽朝食付：4,300円～（1室2名）
《日帰り入浴》800円、6：00～22：00

2 旅館 一乃松

TEL.0138-57-0001
【お一人様】1泊2食付：15,400円～（1室2名）

3 イマジン ホテル&リゾート函館

TEL.0138-57-9161
【お一人様】1泊2食付：9,900円～（1室2名）

4 笑 函館屋

TEL.0138-36-2000
【お一人様】1泊朝食付：8,800円～（1室2名）・8,250円～（1室3名）
《日帰り入浴》1,000円、15：00～21：00（最終受付20：00）

5 ホテルかもめ館

TEL.0138-59-2020
【お一人様】1泊2食付：7,700円～（1室2名）
《日帰り入浴》650円、5：30～9：30・13：00～23：00

6 KKRはこだて

TEL.0138-57-8484
【お一人様】1泊2食付：14,800円～（1室2名）
《日帰り入浴》1,000円、11：00～21：00

7 ホテルテトラ 湯の川温泉

TEL.0138-59-4126
【お一人様】1泊素泊：7,000円～（1室2名）
《日帰り入浴》550円、13：00～22：00

8 湯元 啄木亭

TEL.0570-026573
【お一人様】1泊2食付：11,000円～（1室2名）
《日帰り入浴》1,200円、6：00～9：00・13：00～21：00

9 HAKODATE海峡の風

TEL.0570-026573
【お一人様】1泊2食付：22,000円～（1室2名）

10 望楼NOGUCHI函館

TEL.0570-026573
【お一人様】1泊2食付：40,700円～（1室2名）

11 竹葉新葉亭

TEL.0138-57-5171
【お一人様】1泊2食付：24,200円～（1室2名）

12 函館湯の川温泉 海と灯／ヒューイットリゾート

TEL.0138-57-5390
【料金】詳細は、直接施設にお問い合わせください。
《日帰り入浴》2,000円、14：00～16：00
※混雑日はお休みしております。ホテルへ確認お願いいたします。

13 花びしホテル

TEL.0138-57-0131
【お一人様】1泊2食付：12,100円～（1室2名）
《日帰り入浴》大人1,400円、3～12歳770円、15：00～20：00（最終受付）※お日にちによって変更あり

14 ホテル万惣

TEL.0138-57-5061
【お一人様】1泊2食付：13,750円～（1室2名）
《日帰り入浴》（平日料金）ご利用料金：大人様お一人様 1,300円、お子様お一人様 600円　※土日料金あり
（平日）15：00～21：00（最終受付21：00/最終退館22：00）（土日）13：30～21：00（最終受付21：00/最終退館22：00）

15 湯の川観光ホテル祥苑

TEL.0570-030-780
【お一人様】1泊2食付：8,580円～（1室2名）

16 湯の川プリンスホテル渚亭

TEL.0138-57-3911
【料金】詳細は、直接施設にお問い合わせください。

17 湯の浜ホテル

TEL.0138-59-2231
【お一人様】1泊2食付：8,800円～（1室2名）
《日帰り入浴》1,000円（土日祝1,200円）、13：00～20：00

ようこそ、函館湯の川温泉へ。

道南の懐かしい情緒が漂い函館市民にも愛される名湯「函館湯の川温泉」。
過去と繋がる旅情、温泉街の暖かな人情に癒され、四季折々の風物詩に恍惚。
心地よい湯に浸かり、絶品の郷土料理を堪能。
この地で、かけがえのない思い出を紡いでください。

函館湯の川温泉 なるほど百科

足湯

市電湯の川温泉電停前の足湯「湯巡り舞台」は、市電待ちや散策後の休憩に最適。屋根付きで天候に左右されず、朝9時～夜9時まで利用可能です。足拭きタオルは各自で持参ください。
●所在地／函館市湯川町1-16-5
●問い合わせ／0138-57-8988（函館湯の川温泉旅館協同組合）

温泉

湯の川温泉は古くから親しまれ、日量7,000トン以上の湯量が魅力です。箱館戦争時に榎本武揚も入浴し、熱い湯が特徴の銭湯も温泉街に点在しています。

湯川黒松林

1889年に渡邊熊四郎が創設した北海道初の防風防砂林。沼津から20万本の苗を取り寄せ、現在約900本の黒松が残っています。
●所在地／函館市湯川町1-7-55

香雪園

1898年造設された香雪園は北海道唯一の国指定名勝。約150種の庭木が四季折々の美しさを見せ、春の桜、秋の紅葉が感動的です。。秋のイベントで幻想的なライトアップされた紅葉や、温室、園亭が見どころで市民に親しまれる憩いの空間です。
●所在地／函館市見晴町56
●問い合わせ／0138-57-7210（管理事務所）

スポーツ施設

2015年開業の函館アリーナはアクセス良好で、5,000人収容のメインアリーナを含む多目的施設。市民のスポーツ・健康拠点として、大規模イベントも開催可能です。2015年には函館出身の人気ロックバンドGLAYのこけら落し公演を開催。近郊にラグビー場やフットボールパークも揃う充実のスポーツ施設です。
●所在地（函館アリーナ）／函館市湯川町1-32-2
●問い合わせ（函館アリーナ）／0138-57-3141

トラピスチヌ修道院

1898年創立の日本初女子観想修道院・トラピスチヌ修道院。煉瓦外壁とゴシック・ロマネスク様式が印象的な聖堂。前庭や歴史紹介の資料室が見学可能。向かいにある市民公園では豊かな自然を堪能でき、「アジサイ広場」は初夏の見どころとしておすすめです。
●所在地／函館市上湯川町346
●問い合わせ／0138-57-2839
市民の森
●所在地／函館市上湯川町327-1
●問い合わせ／0138-59-4472（管理事務所）

函館市熱帯植物園

園内には300種3,000本の熱帯植物があり、アイスクリームの木やソーセージの木など南国風情が楽しめます。12月～5月は屋外サル山で温泉に浸かるサルが見られ、親子や友達と楽しむ絶好スポットです。
●所在地／函館市湯川町3-1-15
●問い合わせ／0138-57-7833

湯の川温泉花火大会

湯の川温泉の華麗な夏の風物詩として松倉川の下流付近から打ち上げられ、津軽海峡沖のイカ釣り漁船の漁火とともに8月の夜空を彩ります。
●開催場所／松倉川下流
●問い合わせ／0138-57-8988
（函館湯の川温泉旅館協同組合）

湯倉神社（湯の川温泉発祥之地）

約560年前、木こりが湯けむりを発見し、湯治で病気から回復しました。感謝し薬師如来を祀ったのが湯倉神社と湯の川温泉の始まりです。御祭神は五穀豊穣、家内安全、健康長寿、縁結び等で地元の人々の信仰を集めています。境内には温泉発祥の地碑や御神木、結びの銀杏などがあり、荘厳な雰囲気の中で歴史を感じることができます。2024年に創建370年の佳節を迎えます。
●所在地／函館市湯川町2-28-1
●問い合わせ／0138-57-8282

函館湯の川温泉 体験型アクティビティ

ゆのぶら

What is Yunobura?

函館湯の川温泉の各旅館ホテルが中心となり開催する
様々な体験プログラムやグルメコンテンツ、アクティビティを
スマートフォンやタブレットで簡単に予約することができます。

ゆのぶらなら、函館湯の川の楽しみ方、自由自在♪

例えば… 癒したっぷり♪函館湯の川エリア満喫コース

【タイムスケジュール例】

9:00 日帰り温泉入浴☆源泉掛け流しの露天風呂・サウナ&水風呂でととのう
所要時間 1時間

10:30 願い事を書き写す貴重な写詞体験
所要時間 30分

12:00 日帰りランチプラン☆客室に特製和食弁当をご用意♪
所要時間 5時間、17:00チェックアウト

17:30 日帰り温泉入浴
所要時間 1時間

19:00 日帰りバイキングプラン～ズワイガニ食べ放題付～
所要時間 1時間30分

さまざまな施設のお風呂が楽しめる!!

※各アクティビティは予約が必要です。アクティビティによっては時期によって開催していない場合もございます。下記webサイトより必ずご確認してからご利用ください。

函館湯の川のアクティビティもりだくさん!
CHECK!! Yunobura! https://yunobura.com